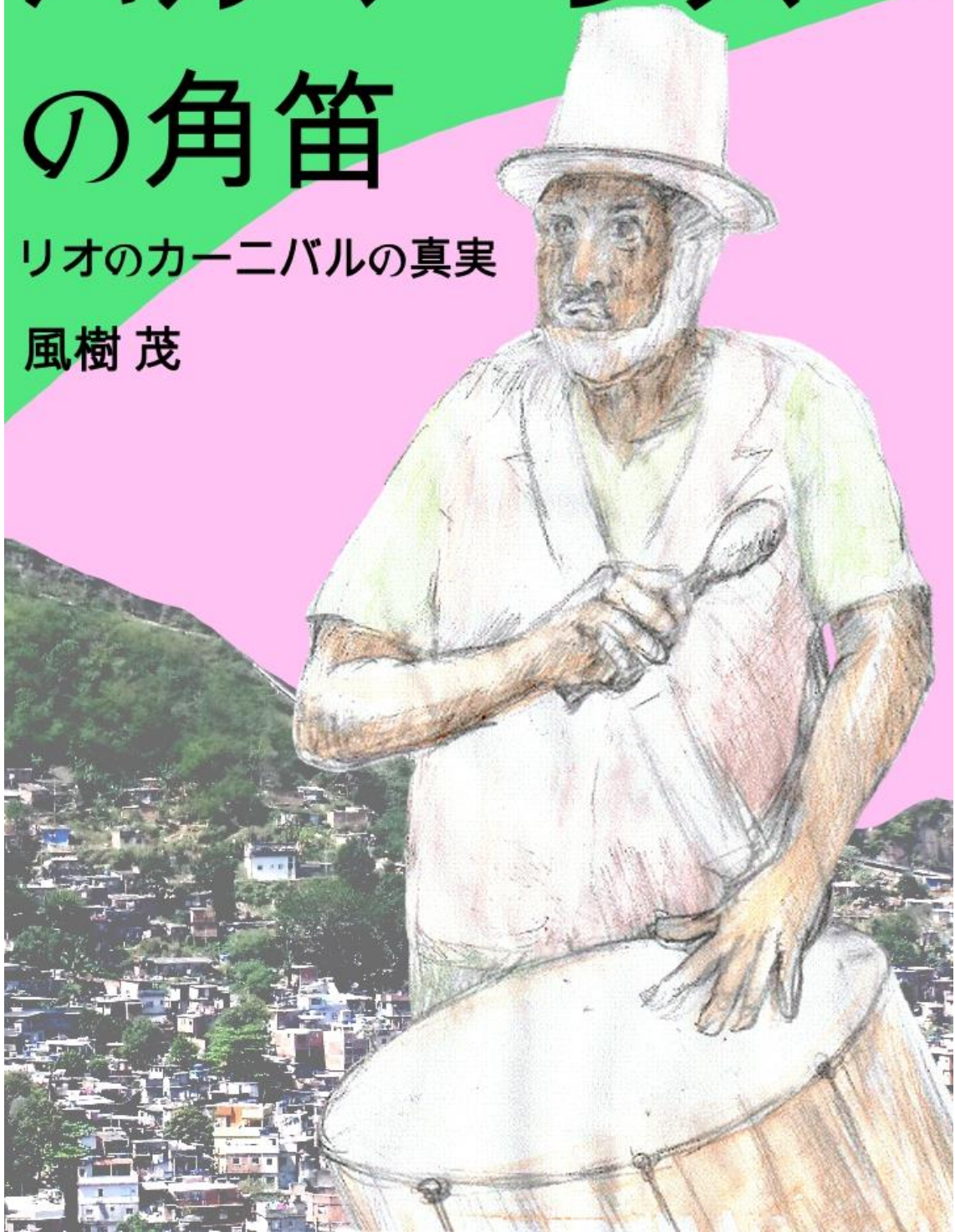


# パルマール の角笛

リオのカーニバルの真実

風樹 茂



## 企画案と内容

題名『パルマーレスの角笛』

副題ーリオのカーニバルの真実ー

### 内容

リオデジャネイロには二つの夜空がある。ひとつはどこにでもある天空の星空、もうひとつはリオの夜景を彩るあちらこちらのファベラ（貧民街）の丘に密集する黄色い光の束。住民の家々が灯す光は彼ら一人一人の眩きでもあるかのよう。

コパカバーナの絶景を見渡せるパルマーレスの丘に住むのが、サンバチームに属する初老の黒人のドラムの達人ジョゼ。かつてあった逃亡奴隷の黒人が作ったパルマーレス共和国の末裔だ。

時代は1988年の奴隷解放100年を記念する、リオのカーニバル。1000%のインフレによる経済苦、失業、アマゾン金鉱への出稼ぎ、犯罪、人種差別、大豪雨災害―それらの中を、ジョゼの子供、親友、孫そしてサンバスクールのメンバーは、どう生き抜き、あるいはどう劇的な死を迎えたのか？ そしていかにリオのカーニバルで行進し、なぜブラジル中に感動を巻き起こしたのか？

美しい風景、残酷な事実、そしてブラジルの黒人史を背景にした「パルマーレスの角笛」は、初めてリオのカーニバルの真実が描かれた物語である。

（なお、Escola de samba Mangueira (<https://mangueira.com.br/site/>)を一部モデルにしている）。

題名の由来；代々先祖から伝わる黒人が作ったパルマーレス共和国の角笛を持っている。

類書：なし。しいて言えば日本のアイヌの物語の「コタンの口笛」。本編はブラジルの黒人の物語となる。

読書ターゲット：

- 差別問題に関心のある人
- リオのカーニバルに関心のある親・子供
- 国内サンバスクールにかかわる人々
- 浅草カーニバルを見物する人々
- 中南米・ブラジル好き
- サンバなどのラテンミュージックファン

販促関連媒体

1. 少年・少女・児童向け：「朝日中高生新聞」、「読売中高生新聞」、「日本児童文学」  
「ニッケイ新聞」 <https://www.nikkeishimbun.jp/2020/200418-21colonia.html>

## II. サンバ・ブラジル関連

1. 全国の主要サンバチーム 16か所ほど。現在、道場破り進行中。

学生チームは自由の森学園とICU。それぞれ高校・大学。

<https://www.asakusa-samba.org/team.html>

2. JWAVE 等 FM SAUDE! SAUDADE <https://www.j-wave.co.jp/original/saude/>

3. BRARIO <http://brario.jp/>

SORTE Brazil 公式ウェブマガジン <https://www.sorte-brazil.jp/blog/>

4. 音楽雑誌など

「MUSICA(ムジカ)」、「BARFOUT! (バァフアウト)」、

「The Walker's (ザウォーカーズ)」音楽之友社、

## III そのほかの広報

1. サンバに魅せられた人々の短期連載を計画中。ネットマガジンか

2. ブラジル大使館に推薦してもらおう(かつて文献はブラジル大使館の図書館とアジア経済研究所にしかなかったのをたびたび訪れた)

### 社会的意義：

以下のようなことを知るのは、一元的な現在の社会にとって、若者が多様性に目を開き、差別・非差別に関して知る機会となる。また、日本では他民族に共感するような日本人の手による出版物や映画などは圧倒的に少ない。

ー日本で黒人史、とりわけブラジルの黒人史などは教えられない。奴隷貿易と含め人類にとっては、忘れられない歴史である。

ー南米はカトリックだけではない。アフリカのナイジェリアのヨルバ族から伝わったオリシャが強い影響力を持つ。様々な八百万の神を信じ、Escola de samba (サンバ学校。1930年代などに黒人が集まって騒ぐと警官に迫害された。サンバの練習に行く黒人が「学校に行く」といえば、許された)もそれぞれの守り神がいる。

ーリオのカーニバルの背景とその中核にある魂がわかる

ー人間にとって尊厳とは何かのヒントがある。

ー家族、仲間、地域の大切さを思い出す。

筆者が本書を書くわけ。

1988年のカーニバルではエスコラ・ジ・サンバ「ポルテーラ」の練習に参加。また会場で親しくなった黒人家族とともにリオのカーニバルを見物し、そのときの前後の経験・体験が元になっている。その後も何度かりオを訪れている。

なお音楽には必ずしも詳しくないので、現在いくつかの浅草サンバスクールの練習に参加し、ブラジルで実際にカーニバルに出たサンバ専門家に話を聞いている。

#### 希望発刊時期

来年のリオのカーニバルの前

あるいは夏休み前（浅草サンバカーニバルが夏にある）

#### 略歴

略歴 東京外国語大学スペイン語学科卒業後、ボリビアとブラジル国境のアマゾンで鉄道を作る。帰国後、首相向け政策提言や海外投資・援助コンサルタントとして各国で働く。カタールに一年、ベネズエラに数年駐在。40カ国を踏査。現在は地雷除去、テロ対策の援助に従事。

一方、『ホームレス人生講座』、『東京ドヤ街盛衰記』、『アマゾンに鉄道を作る』、『ホームレス入門』、『リストラ起業家物語』、『ラテンの秘伝書』、『サッカーの祭典に集った三二か国の仲間たち』などの著作あり。

#### 主な執筆媒体

『夕刊フジ』 海外ルポ、サラリーマン向け定年事情、再就職・起業事情

『WEDGE INFINITY』独裁・テロなど海外事情（中近東、南米、アジア、フランス）

『新潮45』原発、殺人事件、海外事情、他

『文芸思潮』 北朝鮮核ミサイルの源流 テロにかかわる短編

#### その他、今後の企画

児童本『ネズ公一代』、ノンフィクション『顔面蒼白漂流記』、『60歳からのオシゴト最前線』 デイストピア小説『2054 穢された夜の貴婦人』など多数